

「みんなの知らない山の辺の道」イベント開催される

3月7日、「みんなの知らない山の辺の道」（主催：観光魅力づくり活動推進委員会、企画：国土交通省）が大神神社（桜井市三輪）の大礼記念館で開催された。

奈良のまち・みちづくりと観光について、新たな視点で再発見しようと始めたイベント。

午前中は、帝塚山短期大学名誉教授の青山 茂さんが「山の辺の道について」と題して講演、約180名が聴講した。「3世紀中頃から4世紀始めまで、三輪周辺は、古代国家の中心として栄えた所。山の辺の道が通じる^{まきわく}峯向には、崇神天皇陵、景行天皇陵などの古墳群がある。山の辺の道は、観光ルートとして桜井～奈良への道とされているが、奈良～^{ほうその}祝園～^{くずは}樟葉～木津川～難波まで通じ、ひいては朝鮮、中国へ開いていた。」と話された。

午後は、山の辺の道の一部を散策、明治の廃仏毀釈で廃絶した旧寺を昭和52年より復興事業を進めてい

る「平等寺」、崇神天皇の皇居跡と伝わる「志^し貴御縣坐^{きのみあかたにますじんじや}神社」、^つ金屋の石仏、^{つば}海柘榴市（古代から栄えた交易市場）、欽明天皇の時代に百済の聖明王の使節が訪れ、釈迦仏の金剛像を献上し、日本に仏教を最初に伝えたといわれる「仏教伝来之地碑」を訪ねた。（上田）



仏教伝来之地碑の前で説明される青山名誉教授